

証券コード：6469



株式会社 **放電精密** 加工研究所

2020年2月期
決算説明会資料

2020年 4月15日

■ 2020年2月期決算概要

- 2020年2月期 決算概要（連結） ……P 3
- 子会社の合併と持分適用会社の株式取得 ……P 4
- 2020年2月期 利益の変動要因 ……P 5
- 事業概要 ……P 6
- 2020年2月期 セグメント別概要 ……P 7～
- 連結貸借対照表とCFの状況 ……P12
- 2020年2月期 設備投資・償却費・研究開発費 ……P13

■ 2021年2月期 計画

- 振り返りと考え方 ……P14～
- 事業の方向性 ……P16～
- 2021年2月期 通期業績予想 ……P22
- 2021年2月期 セグメント別概要 ……P23～
- 2021年2月期 設備投資・償却費・研究開発費 ……P28～

■ 配当 ……P29

■ 新型コロナウイルスについて ……P30

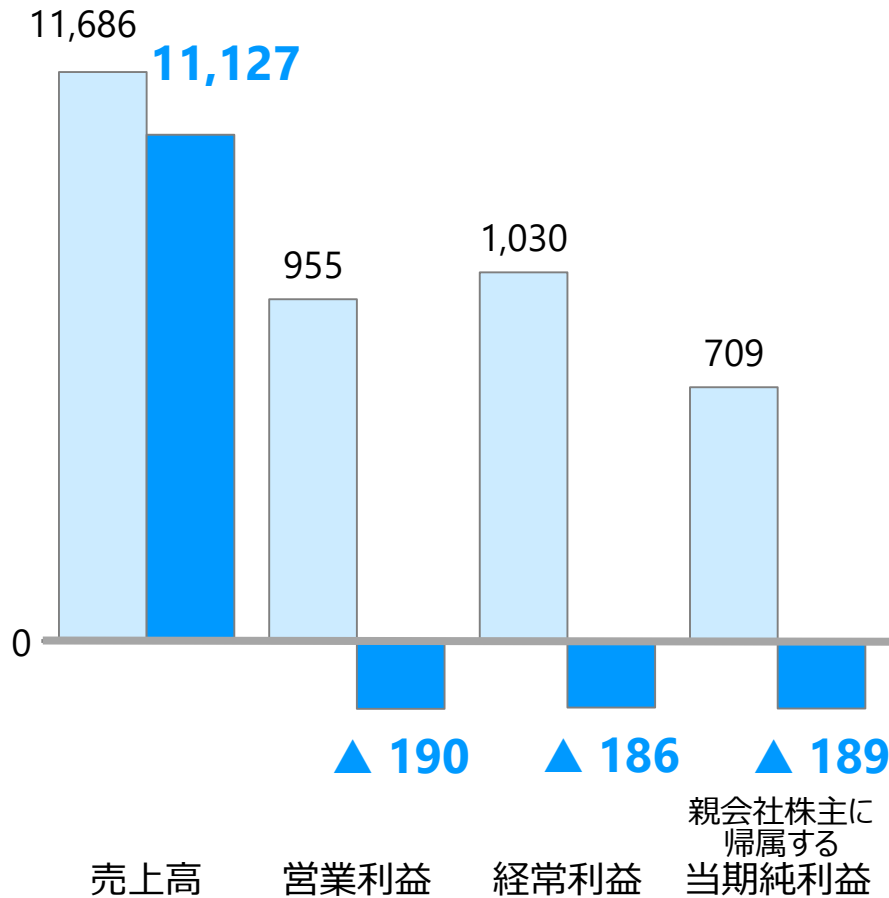
別紙：2020年2月期決算 補足資料

2020年2月期 決算概要(連結)



(単位：百万円/%)

□ 19年2月期 実績 ■ 20年2月期 実績



	19年2月期 実績	20年2月期 実績	売上高比率	
			前期	当期
売上高	11,686	11,127	100.0	100.0
売上原価	8,722	9,117	74.6	81.9
売上総利益	2,964	2,009	25.4	18.1
販管費	2,008	2,200	17.2	19.8
営業利益	955	▲190	8.2	▲1.7
営業外収益	122	59	1.0	0.5
営業外費用	47	56	0.4	0.5
経常利益	1,030	▲186	8.8	▲1.7
特別利益	0	107	0.0	1.0
特別損失	11	172	0.1	1.6
税金等調整前純利益	1,018	▲252	8.7	▲2.3
税金費用	309	▲62	2.7	▲0.6
親会社株主に 帰属する 当期純利益	709	▲189	6.1	▲1.7

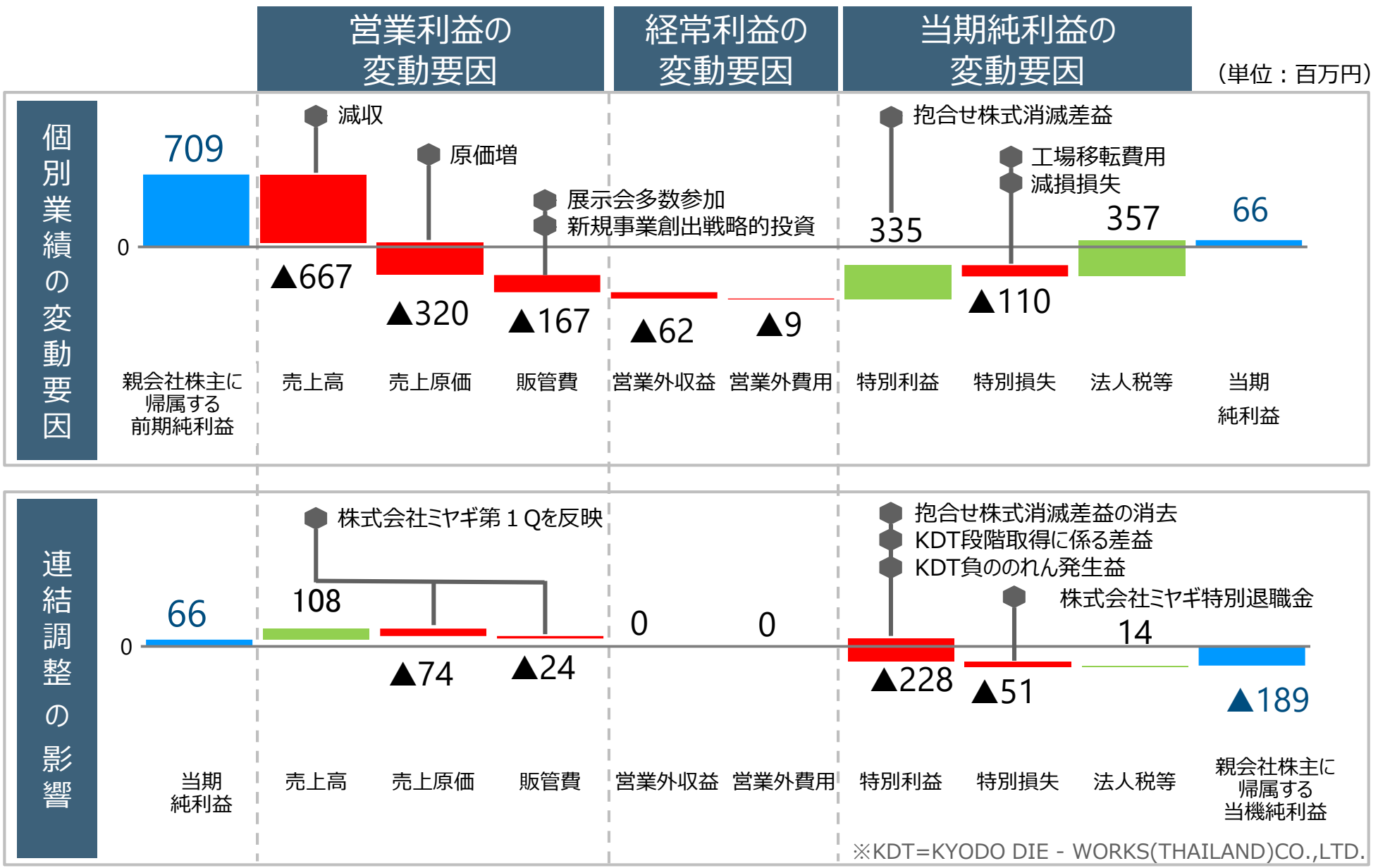
■ 子会社ミヤギの合併

2019年6月完全子会社株式会社ミヤギの吸収合併により、
2020年2月期第2四半期から非連結決算による個別業績へ移行

■ 持分法適用会社の株式追加取得

2020年1月に持分法適用会社であるKYODO DIE –
WORKS(THAILAND)CO.,LTD.の株式追加取得により、
2020年2月期第4四半期から連結決算による連結業績へ移行

2020年2月期 利益の変動要因



※KDT=KYODO DIE - WORKS(THAILAND)CO.,LTD.

放電加工・表面処理

- 航空・宇宙 ~航空機エンジン部品
- 交通・輸送 ~自動車表面処理部品
- 環境・エネルギー ~産業用ガスタービン関連部品



金

型

- 住宅 ~アルミ押出用金型
- 交通・輸送 ~セラミックスハニカム用押出用金型



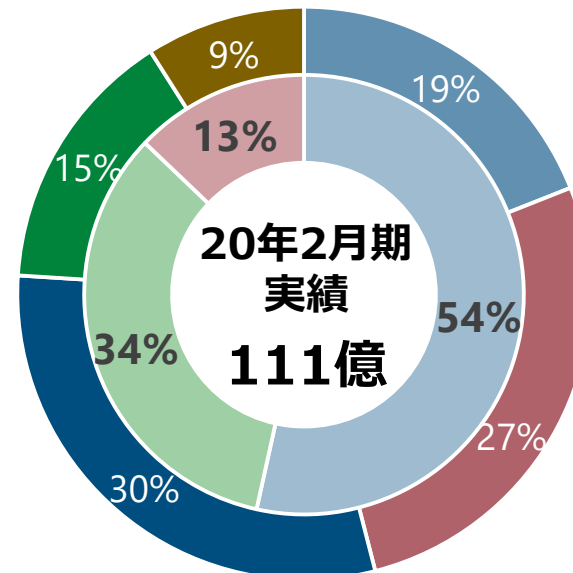
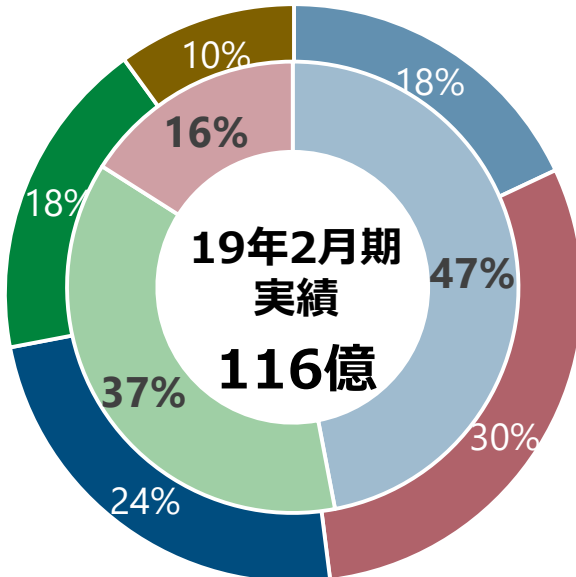
機械装置等

- 機械設備 ~プレス機・プレス付帯設備
- 交通・輸送 ~自動車関連プレス部品



セグメント別売上構成比率（連結）

■ 放電加工・表面処理 ■ 金型 ■ 機械装置等



■ 航空・宇宙 ■ 交通・輸送 ■ 環境・エネルギー ■ 住宅 ■ 機械設備

2020年2月期セグメント別概要



※1

※2

(単位：百万円)

		19年2月期 実績	20年2月期 見通し	20年2月期 修正計画	20年2月期 実績	前期 増減	見通し 増減	修正計画 増減
売上高	放電加工・表面処理	5,531	5,667	5,948	5,936	405	328	▲12
	航空・宇宙	1,934	2,186	2,122	2,060	125	▲67	▲61
	交通・輸送	842	478	505	509	▲333	31	3
	環境・エネルギー	2,753	3,001	3,320	3,366	612	365	45
営業利益		374	119	▲49	70	▲304	▲41	119
売上高	金型	4,289	4,129	3,691	3,706	▲582	▲423	15
	住宅	2,110	1,953	1,708	1,717	▲393	▲236	9
	交通・輸送	2,178	2,175	1,982	1,988	▲189	▲187	5
営業利益		1,193	965	682	717	▲476	▲249	34
売上高	機械装置等	1,866	1,727	1,409	1,484	▲382	▲351	74
	機械設備	1,188	1,138	872	967	▲220	▲279	95
	交通・輸送	677	589	536	516	▲161	▲73	▲20
営業利益		277	158	65	68	▲208	▲103	2
全社費用		▲889	▲1,077	▲1,068	▲1,045	▲155	▲34	23
全社	売上高	11,686	11,524	11,049	11,127	▲559	▲446	77
	営業利益	955	165	▲369	▲190	▲1,145	▲357	179

※1 20年2月期見通し：19年10月16日 第2Q決算説明会見通し

※20年2月期修正計画：20年1月20日公表 業績予想

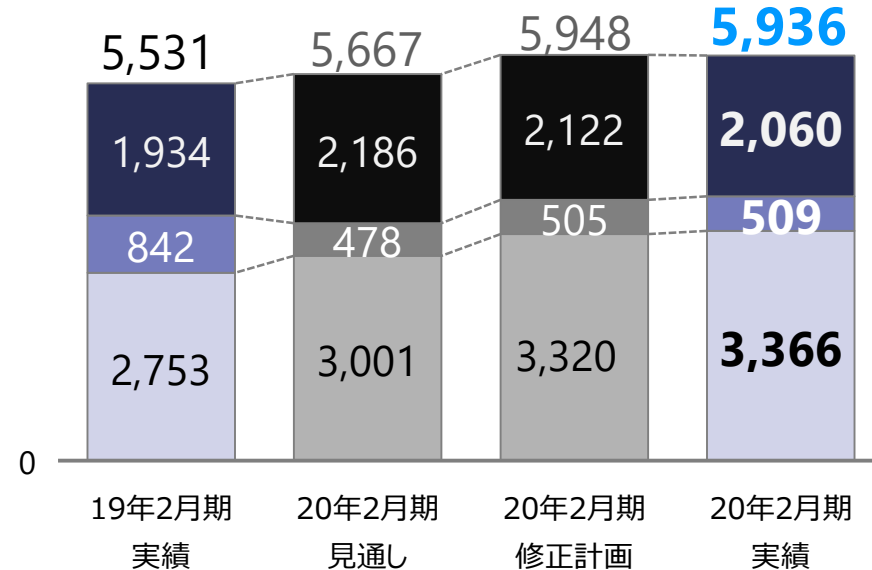
セグメント別詳細：放電加工・表面処理



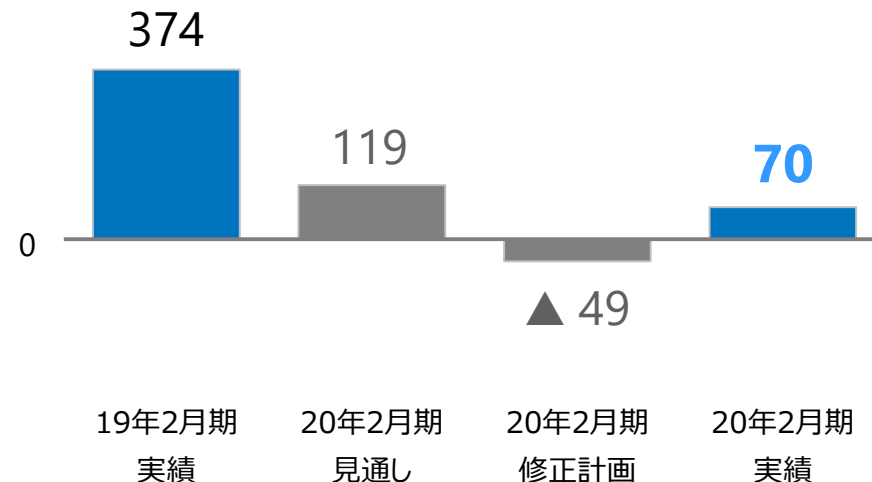
(単位：百万円)

■ 環境・エネルギー ■ 交通・輸送 ■ 航空・宇宙

売上高



営業利益



前期比 増収・減益

売上高：5,531 ⇒ 5,936 (+405)

営業利益：374 ⇒ 70 (▲304)

売上高増減要因 (前期比 / 計画比)

- 航空・宇宙 (↑ / ↓)
 - ◇ 前期比は、圧縮機・燃焼器部品の量産が本格化
 - ◇ 計画比は、その他受託加工の受注減少により減収
- 交通・輸送 (↓ / ↑)
 - ◇ 前期比は、自動車関連部品の表面処理部品が減少
 - ◇ 計画比では、計画並みに推移
- 環境・エネルギー (↑ / ↑)
 - ◇ 前期比・計画比ともに産業用ガスタービン関連部品の新規アイテム受注が増加
 - ◇ プラント関連市場の遠心圧縮機関連部品が順調に推移

営業利益増減要因 (前期比 / 計画比)

- (↓ / ↑)
 - ◇ 航空・宇宙は航空機エンジン部品が増収に伴い赤字幅圧縮も新規アイテム立上げ費用が増加
 - ◇ 環境・エネルギーは産業用ガスタービン関連部品の新規アイテム受注が想定以上に増加したことに加え、プロダクトミックスの変化に伴う生産性の低下で原価高

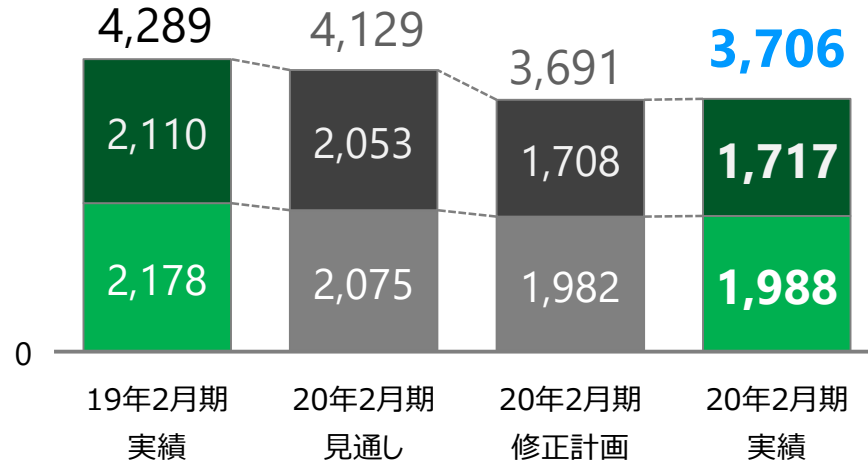
セグメント別詳細：金型



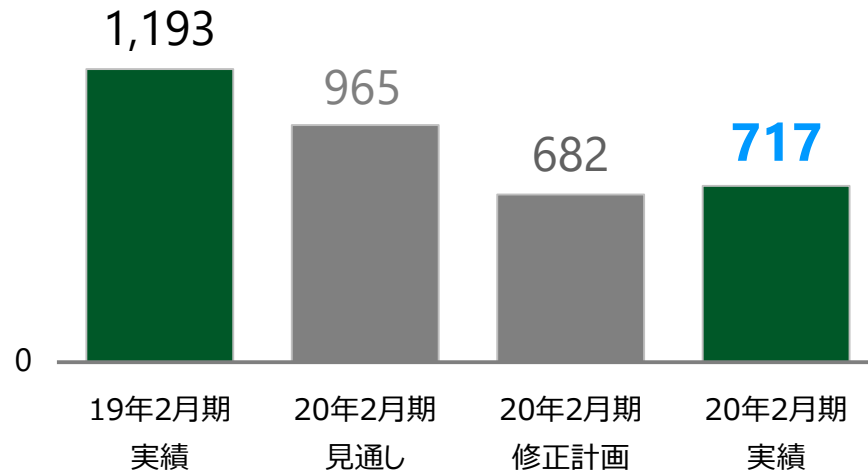
(単位：百万円)

■ 交通・輸送 ■ 住宅

売上高



営業利益



前期比 減収・減益

売上高：4,289 ⇒ 3,706 (▲582)

営業利益：1,193 ⇒ 717 (▲476)

売上高増減要因 (前期比 / 計画比)

□ 住宅 (↓ / ↑)

- ◇ 前期比は、住宅向けならびに自動車関連部品の産業品が受注低迷し、アルミ押出用金型が減収
- ◇ 計画比では、計画並みに推移

□ 交通・輸送 (↓ / ↑)

- ◇ 前期比は、米中貿易摩擦の影響を受けて、セラミックスハニカム押出用金型で減収
- ◇ 計画比では、計画並みに推移

営業利益増減要因 (前期比 / 計画比)

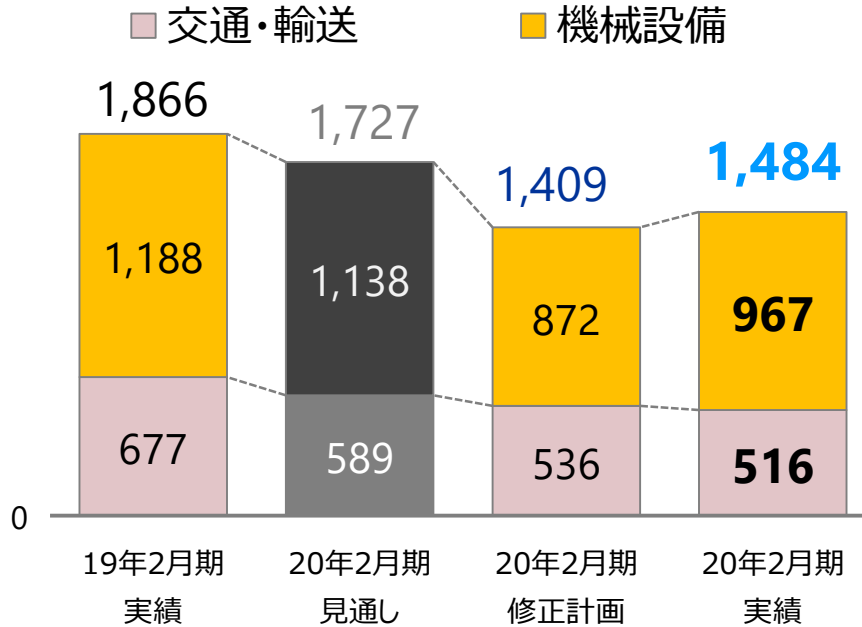
□ (↓ / ↑)

- ◇ 前期比は、減収によるもの
- ◇ 計画比は、経費削減と生産性向上効果で増益

セグメント別詳細：機械装置等

(単位：百万円)

売上高



前期比 減収・減益

売上高：1,866 ⇒ 1,484 (▲382)

営業利益：277 ⇒ 68 (▲208)

売上高減少要因 (前期比 / 計画比)

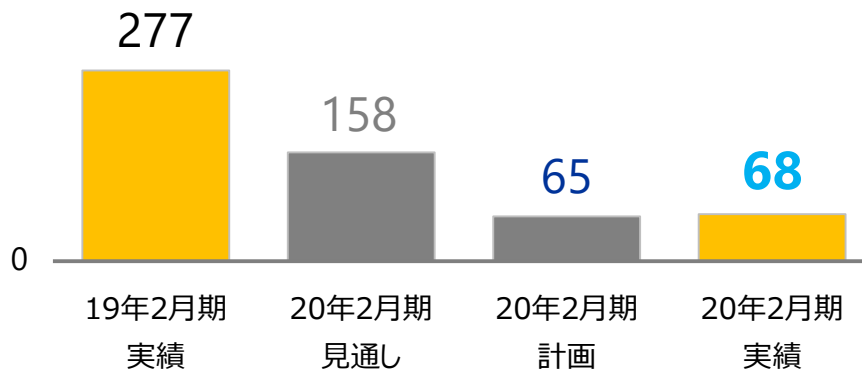
□ 機械設備 (↓ / ↑)

- ◇ 前期比で米中貿易摩擦の影響等で設備投資抑制、延期などで販売台数の減少
- ◇ 計画比は、連結調整によるもの

□ 交通・輸送 (↓ / ↓)

- ◇ 前期比、計画比ともにプレス部品の量産アイテムの需要減少によって減収

営業利益



営業利益増減要因 (前期比 / 計画比)

□ (↓ / ↑)

- ◇ 前期比は、減収によるもの
- ◇ 計画比は、想定通り

連結貸借対照表

(単位：百万円)

流動資産 6,222 前年比：337	流動負債 4,427 前年比：603
固定資産 11,486 前年比：2,159	固定負債 5,341 前年比：1,636
	純資産 7,939 前年比：256

資産の部

負債純資産の部

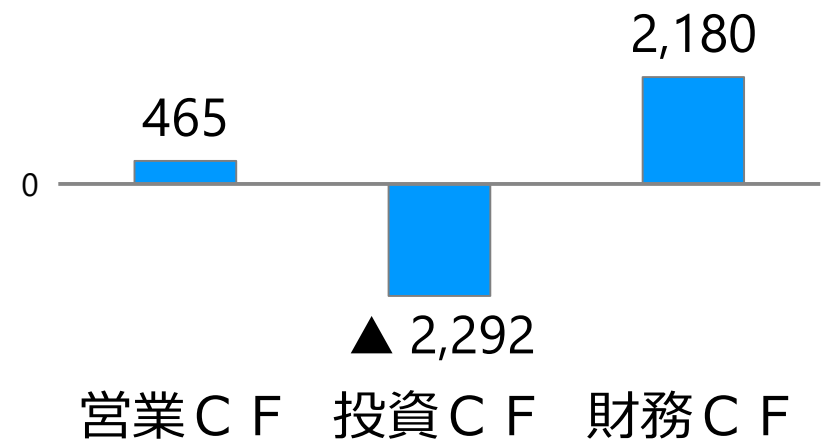
自己資本比率

2020年2月期 : 41.0%
 2019年2月期 : 50.5%

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	19年2月期 実績	20年2月期 実績
現金及び現金同等物の期末残高	885	1,238



設備投資／減価償却費

(単位：百万円)

	19年2月期 実績	20年2月期 実績
設備投資	510	2,877
減価償却費	892	890

2020年2月期 主な投資案件

- ◆ 新工場用地購入と建物建設着手
- ◆ 航空機エンジン部品事業の生産性向上
- ◆ 航空機エンジン部品の新たなアイテムの立上げ
- ◆ 安定事業の生産体制の盤石化

研究開発費

(単位：百万円)

	19年2月期 実績	20年2月期 実績
研究開発費	81	79

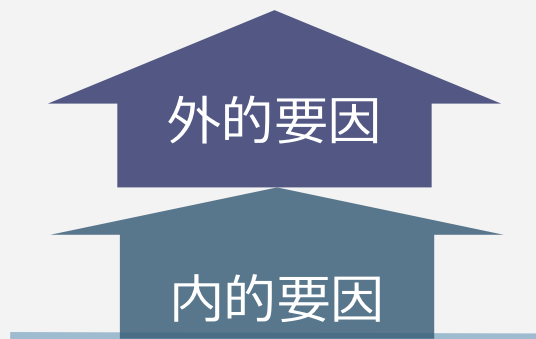
2020年2月期 主な研究開発案件

- ◆ 炭素繊維(CFRP/CFRTP等)の成形技術強化
- ◆ 高機能樹脂の射出成形技術強化
- ◆ マルチマテリアル化成形技術向上
- ◆ バイオプラスチック樹脂等成形基礎技術開発
- ◆ クロムフリー塗料の更なる性能向上
- ◆ 機能性塗料の性能向上

2021年2月期計画

2019年2月期

過去最高益



■ 外的要因

- ・航空機ビジネスは好調
- ・フィルム業界が投資旺盛

■ 内的要因

- ・成田事業所事故における代替生産の原価高も解消し、各セグメントで収益確保

2020年2月期

業績悪化



■ 外的要因

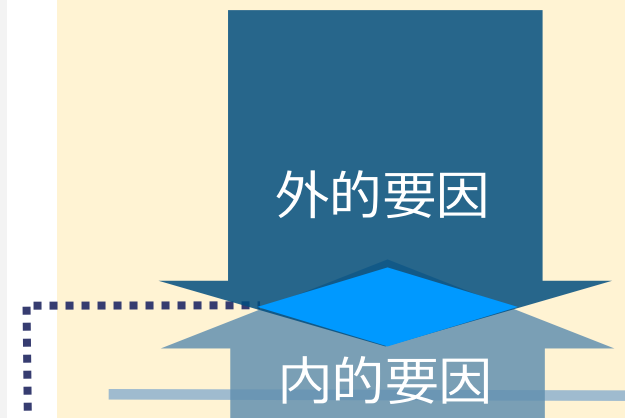
- ・米中貿易摩擦などの影響で自動車部品の減産や設備投資抑制
- ・住宅・ビルも需要が鈍化

■ 内的要因

- ・産業用ガスタービン関連部品の立上げに伴う原価高
- ・航空機エンジン部品新規アイテムの立上費用
- ・収益力強化体制構築の遅れ

2021年2月期

外的要因は未曾有の事態



■ 外的要因

- ・新型コロナウイルスの影響
- ・サウジ発原油価格の下落影響
- ・自動車販売台数の減少

**内的要因を解消し、
収益力強化体制の
構築で確実な
収益改善を図る**

外部環境

環境・エネルギー分野
市場構造の変化

航空・宇宙分野
各国渡航規制で需要不透明

住宅分野
国内需要低迷、価格競争激化

自動車分野
需要の冷え込み・生産台数減少

機械設備分野
需要あるが投資には消極的

収益確保

事業拡大

構造変革

優位性確立

方向性

安定供給を実現する
確固たる生産体制構築

戦略は変わらずとも
市場動向を注視

アイテム構成変化に
対応できる生産体制

新たな拡販方法を展開

各セグメントアイテム 放電加工・表面処理 金型 機械装置等

- ◆ガスタービン関連部品
- ◆遠心圧縮機関連部品

- ◆航空機エンジン部品
- ◆機能的塗料

収益
確保

事業
拡大

構造
変革

優位性
確立

- ◆アルミ押出用金型
- ◆樹脂押出用金型
- ◆セラミックスハニカム押出用金型

- ◆プレス機械
- ◆プレス部品

市場構造の変化 将来にむけて再生エネルギーへのシフト転換

グローバル市場でのシェア保有
企業の火力事業撤退・縮小

ガス火力発電はバックアップ電源
含めて依然として需要増

当社のこれまでの施策

多彩な製造技術を
保有している
一貫生産体制へ強化

ここ数年で強化していた
海外市場への展開

国内外から
大型・中小型
問わず、産業用
ガスタービン部品
メーカーとしての
認知度向上

2020年2月期期初より想定以上の依頼・受注増加

- ◆各社新規アイテムの立ち上げ
- ◆従来アイテムの増加
- ◆各社同時期急ぎ納品依頼

プロダクトミックスの
変化

工程輻輳とリソース不足による生産遅延等で原価増

パートナー企業の早期立上に伴う費用増

2021年2月期は収益確保が最優先

顧客との調整によるアイテム選別と生産計画の共有

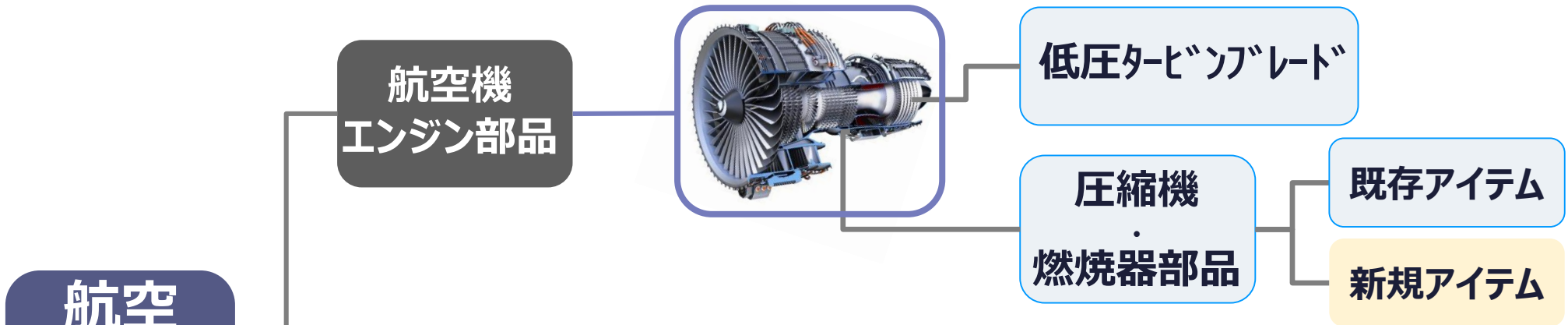
パートナー企業の習熟度向上

航空機エンジン部品メーカーに向けて

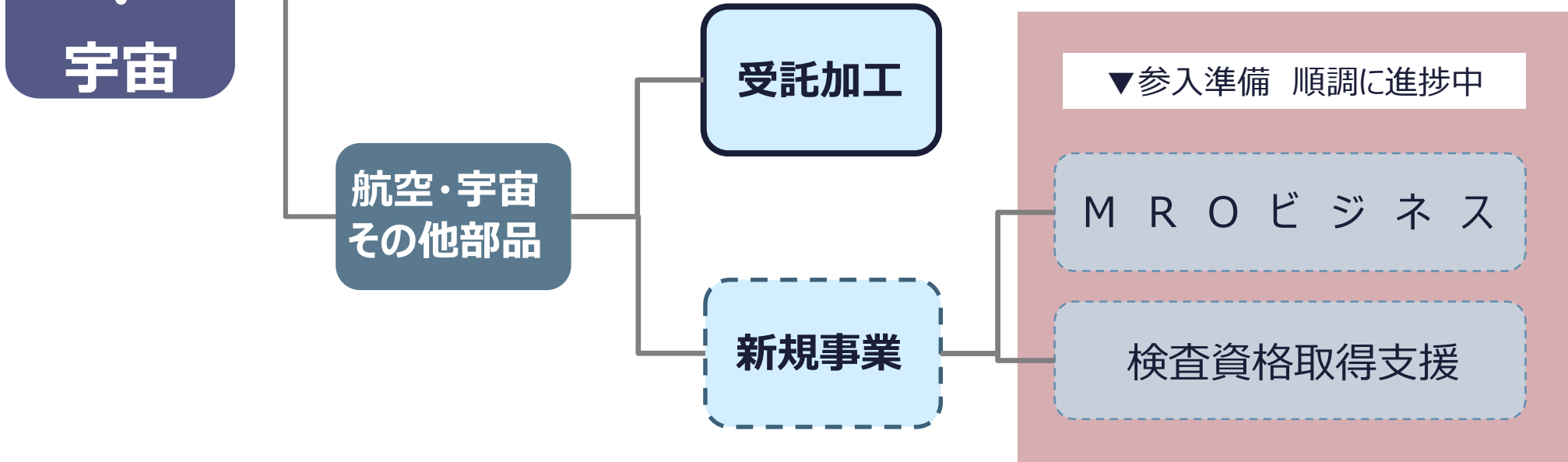


市場環境を注視しながら着実に事業拡大へ

▼一貫加工は量産体制が安定生産で収益拡大と新規アイテム立上げへ



▼単一部品加工は継続も航空機エンジン部品・新規事業へシフト



事業環境

前年度振り返り

セラミックスハニカム 押出用金型

- ・米中貿易摩擦等の影響により自動車販売台数の減少
- ・欧州のEV化加速

- ・需要減
- ・プロダクトミックスの変化に伴う利益率の低下

アルミ押出用金型 樹脂押出用金型

- ・オリンピック需要の終了
- ・住宅着工件数の減少
- ・産業品の伸び悩み

- ・需要減
- ・プロダクトミックスの変化に伴う利益率の低下
- ・生産設備改善による費用増加

■ アイテム構成変化に対応できる生産体制へ

アイテム構成変化に対応、生産ラインの改善・工法開発によるアイテム原価低減

人員・設備の配置転換などリソースの最適化

■ 海外子会社の活用

アルミ押出用金型を中心に事業活動しているKYODO DIE -WORKS(THAILAND)CO.,LTDのリソース有効活用

■プレス機ZENFormerシリーズ



ダブルスライド対応
ZENFormer



小型モデル
ZENFormer nano



射出成形特化モデル
ZENFormer Torque



粉末成形特化モデル
ZENFormer Plus

■サービス内容



■当社プレス機の特徴

- ◆サーボモーターによる4軸独立制御の完全平行制御
- ◆加圧ストローク全域での自由自在なモーション設定
- ◆完全デジタル制御による情報の可視化

プレス事業を集約した新拠点設立

2020年11月稼働予定の大和事業所は
生産と研究開発の複合拠点に！



大和事業所 完成予想図

◆シェアリングサービスを開始

- 各ZENFormerシリーズを常設
- 企業・研究機関へ設備と場所を提供
- ICTを活用し、加工実績をビックデータ化

◆プレス機のレンタルを開始

- 各ZENFormerシリーズを設備レンタル
- 大型投資なく当社プレス機の性能評価を支援

プレス機販売

プレス部品

プレス金型

工法・研究開発

従来サービス

X

設備シェアリング

設備レンタル

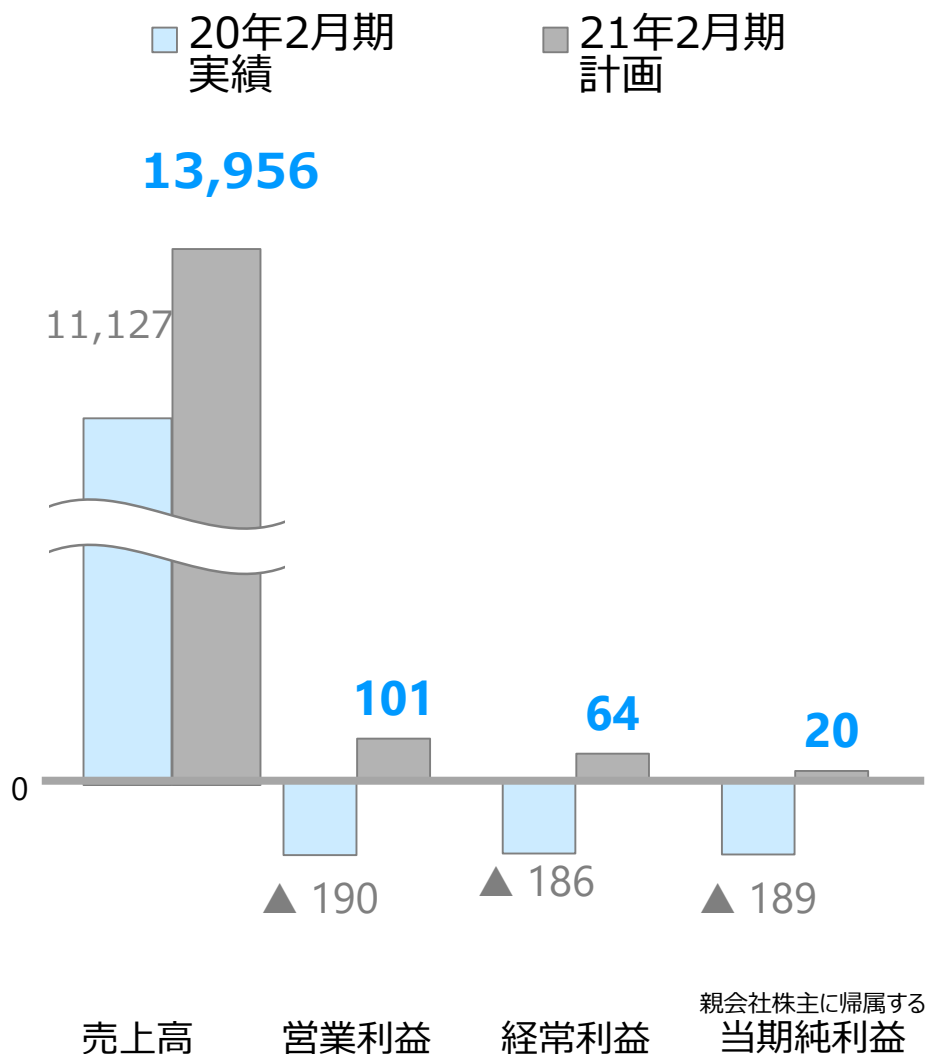
新サービス

2021年2月期 通期業績予想



2020年4月7日時点での外部環境認識を反映

(単位：百万円)



	20年2月期実績	21年2月期計画	前期差	前期比
売上高	11,127	13,956	+2,828	125%
営業利益	▲190	101	+292	-%
経常利益	▲186	64	+250	-%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲189	20	+210	-%

	21年2月期上期計画	21年2月期下期計画	<参考> 20年2月期上期実績	<参考> 20年2月期下期実績
売上高	6,236	7,719	5,086	6,041
営業利益	▲317	419	▲174	▲15
経常利益	▲338	402	▲164	▲22
親会社株主に帰属する当期純利益	▲245	266	217	▲407

2021年2月期 セグメント別概要



(単位：百万円)

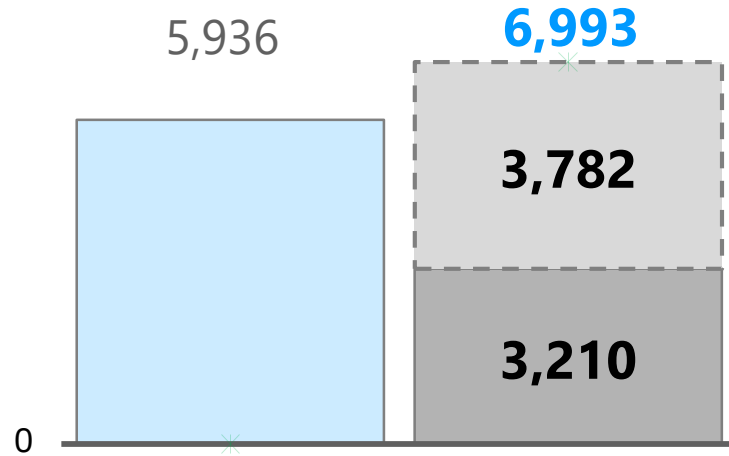
		20年2月期 実績	21年2月期 通期計画	前期 増減	21年2月期 上期計画	21年2月期 下期計画
売上高	放電加工・表面処理	5,936	6,993	1,056	3,210	3,782
	航空・宇宙	2,060	2,534	474	1,141	1,393
	交通・輸送	509	410	▲99	196	213
	環境・エネルギー	3,366	4,048	681	1,872	2,175
営業利益		70	309	239	▲10	319
売上高	金型	3,706	4,618	912	2,306	2,312
	住宅	1,717	3,014	1,296	1,493	1,521
	交通・輸送	1,988	1,604	▲384	813	790
営業利益		717	612	▲104	226	385
売上高	機械装置等	1,484	2,343	859	719	1,624
	機械設備	967	1,792	824	465	1,326
	交通・輸送	516	551	35	253	297
営業利益		68	395	327	44	351
全社費用		▲1,045	▲1,216	▲170	▲578	▲637
全社	売上高	11,127	13,956	2,828	6,236	7,719
	営業利益	▲190	101	292	▲317	419

セグメント別詳細：放電加工・表面処理

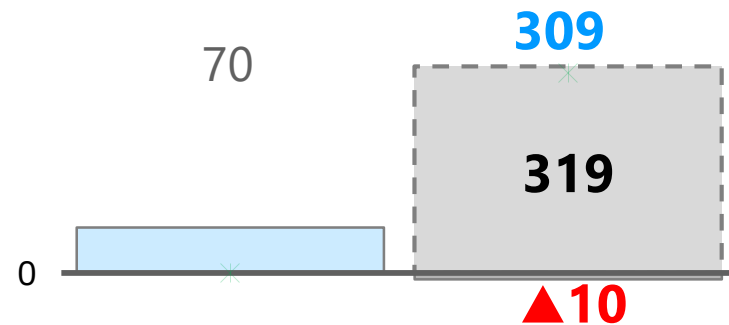


■ 2020年2月期 通期実績
 ■ 2021年2月期 下期計画
 ■ 2021年2月期 上期計画
 (単位：百万円)

売上高



営業利益



売上高計画

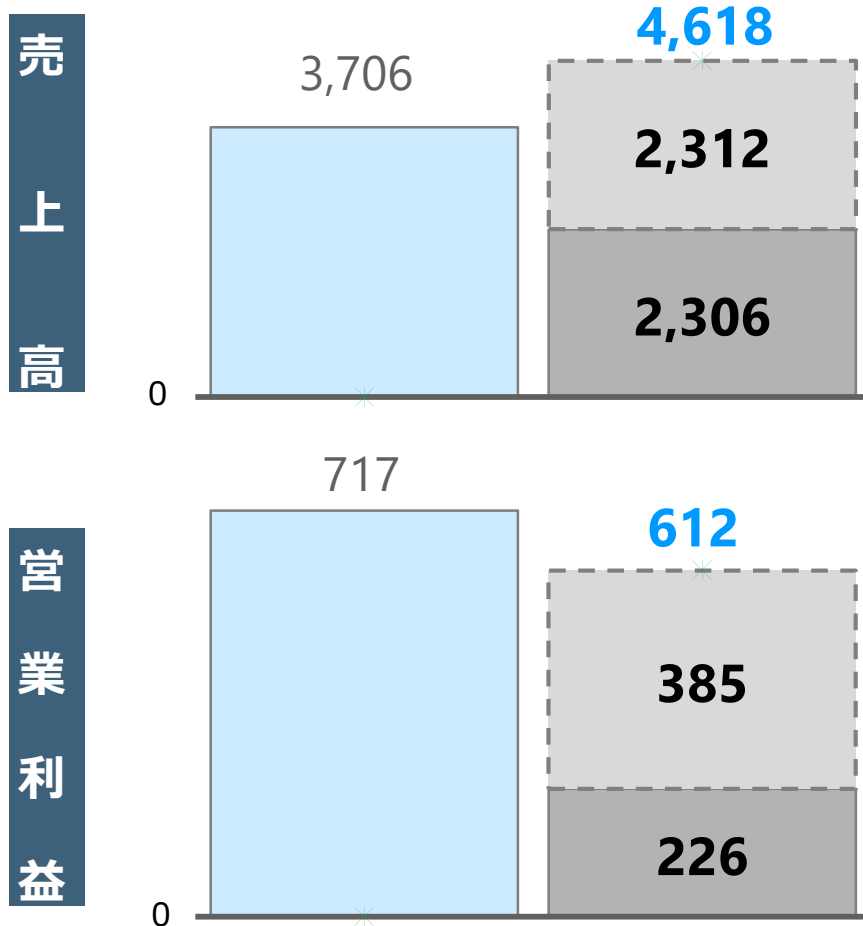
- (↑) **航空・宇宙**
 - 航空機エンジン部品
 - ・ 低圧タービンブレードは在庫調整で減産
 - ・ 圧縮機・燃焼器部品は量産が伸長するとともに新規アイテムの製造開始で増収
 - その他受託加工は横這い
- (↓) **交通・輸送**
 - 自動車関連部品表面処理が需要減
- (↑) **環境・エネルギー**
 - 産業用ガスタービン関連部品は引き続き堅調
 - 遠心圧縮機関連部品が受注増

営業利益計画

- (↑)
 - 増収によるもの
 - 産業用ガスタービン関連部品の原価改善

セグメント別詳細：金型

■ 2020年2月期 通期実績 ■ 2021年2月期 下期計画
■ 2021年2月期 上期計画
(単位：百万円)



売上高計画

□(↑)住宅関連

- 持分法適用会社の連結決算で増収
- アルミ押出用金型の国内需要環境は厳しく前期並みに推移見込み

□(↓)交通・輸送

- セラミックスハニカム押出用金型が市場環境により減産見込み

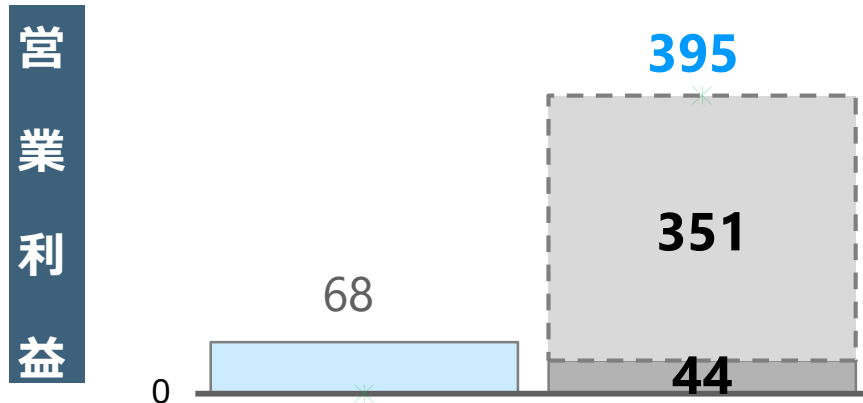
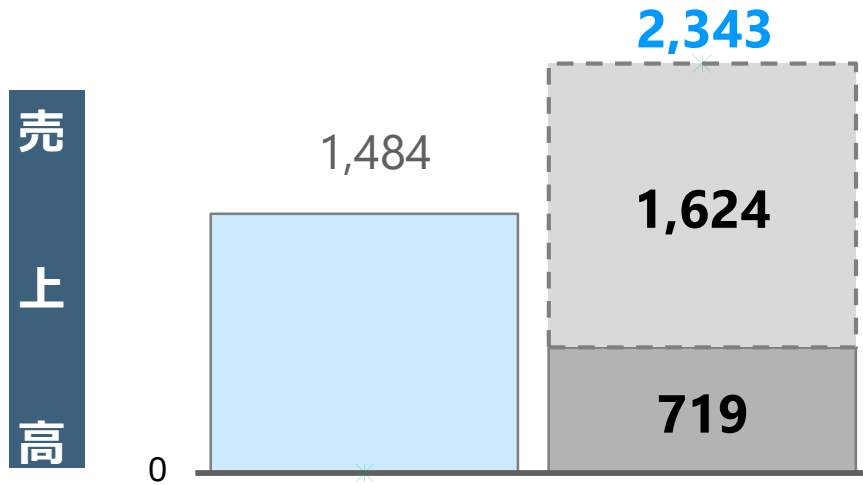
営業利益計画

□(↓)

- セラミックスハニカム押出用金型の減収影響
- 工法開発・生産体制の見直しでの投資コスト増加

セグメント別詳細：機械装置等

■ 2020年2月期 通期実績 ■ 2021年2月期 下期計画
■ 2021年2月期 上期計画
(単位：百万円)



売上高計画

- (↑)機械設備
 - プレス機の受注残と引き合い好調
 - 特殊専用機の特需
- (↑)交通・輸送
 - 自動車市場を鑑み、減産影響から前期並みに推移

営業利益計画

- (↑)
 - 受注しているプレス機が下期納入の為、下期偏重に
 - 大和事業所の2020年11月稼働にむけて一時的な生産停止によるコスト増

設備投資／減価償却費

(単位：百万円)

	20年2月期 実績	21年2月期 見通し
設備投資	2,877	2,000
減価償却費	890	1,000

2021年2月期 主な投資案件

- ◇大和事業所設立と付属設備
- ◇航空機エンジン部品の新たなアイテムの立上げ
- ◇生産体制の効率化・盤石化

研究開発費

(単位：百万円)

	20年2月期 実績	21年2月期 見通し
研究開発費	79	83

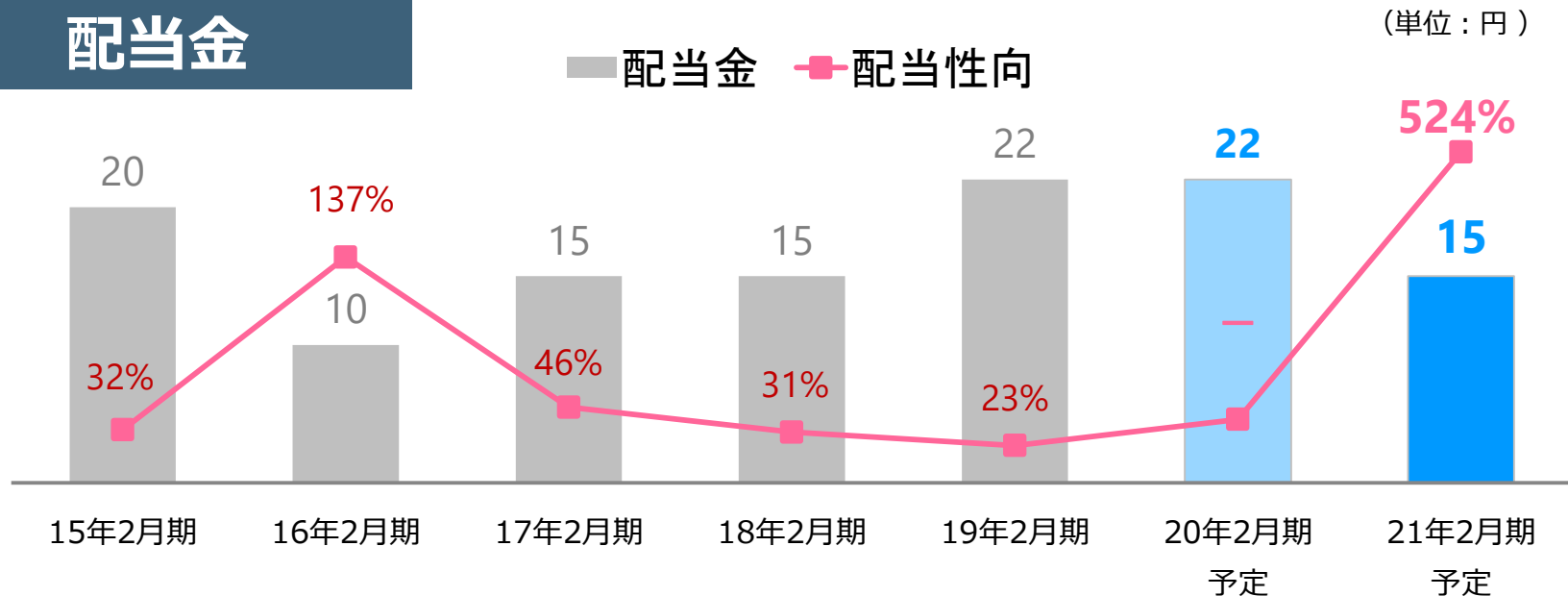
2021年2月期 主な研究開発案件

- ◇バイオプラスチック樹脂等成形基礎技術開発
- ◇クロムフリー塗料の更なる性能向上
- ◇機能性塗料の性能向
- ◇炭素繊維(CFRP/CFRTP等)の成形技術強化
- ◇高機能樹脂の射出成形技術力強化
- ◇マルチマテリアル化成形技術力向上

基本方針

株主様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと考え、現在及び今後の事業収益をベースに将来の事業展開や経営体質の強化のために必要な内部留保資金の確保などを勘案し、配当性向30%を一つの目安として、継続的かつ安定的な利益還元を実施します

配当金



決算公表後の新型コロナウイルス影響予測

2020年4月7日公表後から現在までの外部環境情報

事業分野	当社が認識している外部環境		当社へのリスク	業績影響 想定範囲
航空・宇宙	航空機 エンジン部品	<ul style="list-style-type: none"> ・入国制限等による就航便数減 ・航空機納入時期延期 ・サプライヤーの生産遅延 ・メーカーの生産計画見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンメーカーの生産計画見直し ・材料の入荷遅延の可能性あり ・影響の時期および期間は不明 	■
環境・エネルギー	産業用 ガスタービン	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ市場への影響は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料入荷遅延の可能性あり 	—
交通・輸送	セラミックス ハニカム用 押出用金型	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の工場稼働停止 ・自動車販売台数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な生産遅延・減産 ・新型コロナウイルスの終息後の急速な立ち上がり要請 	◎
	プレス部品加工			
機械設備	プレス機		<ul style="list-style-type: none"> ・景気停滞に伴う設備投資の抑制 	◎
住宅	アルミ 押出用金型	<ul style="list-style-type: none"> ・建材メーカーの部品供給遅延 ・景気停滞に伴う住宅需要減 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅着工数減 	—

業績影響～◎折り込み済 —影響なし ■折り込んでいない

独創技術でニーズにお応えする

HJK 株式会社 **放電精密** 加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載が記述があります。
資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。